

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

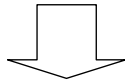
<b>事業名</b>	産学連携による実践型人材育成事業		<b>担当部署</b>	生涯学習政策局		<b>作成責任者</b>	生涯学習推進課長 藤野 公之	
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成22年度		<b>担当課室</b>	生涯学習推進課専修学校教育振興室				
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	IV-1 大学などにおける教育研究の質の向上				
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	—		<b>関係する計画、 通知等</b>	新成長戦略(平成22年6月18日閣議決定)				
<b>事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)</b>	多様な社会の要請に対応できる人材や、新たな産業を創出する創造性豊かな人材など、実践的な人材を育成するため、大学、短期大学、高等専門学校及び専修学校専門課程における産学連携による実践的な環境下での教育プログラムの開発・実施を通じて、これらにおける実践型人材育成機能の抜本的強化を図る。							
<b>事業概要 (5行程度以 内。別添可)</b>	専門学校等が、産学間・学校間の連携組織を形成し、成長分野等で求められる中堅技術者等の専門人材の養成等を目的として実施する取組を支援する。 (補助金:定額補助)							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・ 執行額 (単位:百万円)</b>	予算 の 状 況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	-	-	975	-	-	
		繰越し等	-	-	0	-	-	
		計	-	-	975	-	-	
	執行額	-	-	957	-	-		
	執行率(%)	-	-	98.2%	-	-		
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)	
	基盤的教育推進に係るプログラム開発数		成果実績 件			58		
			達成度 %			-		
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	専門学校等への補助件数(専門人材による基盤的教育推進プログラム)		活動実績 (当初見込み) 件			58		
						( - )		
<b>単位当たり コスト</b>	(16,501千円/件)		算出根拠	単位当たりコスト(専門人材による基盤的教育推進プログラム)=平成22年度補助金額(957,037千円)/平成22年度補助件数(58件)				
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
				※22年度限りの経費				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、用途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっている	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	本事業による目的は概ね達成されたものと判断し、22年度限りで廃止とした。		
予算監視・効率化チームの所見			
	所期の目標を達成したことから、平成22年度をもって廃止している。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
	<p>【事業仕分け第3弾】          ■事業番号1「産学連携による実践型人材育成事業」          【WG評価結果】          廃止          【とりまとめコメント】          本事業については、廃止4名との結果を踏まえ、廃止という結論とし、第一に、事業のアウトカムの検証や評価の考え方や基準を確立し、検証・評価をしっかりと行う、その上で、評価の高いプログラムの普及・活用を図るべき、第二に産学連携のための長期インターンシップの実施やプログラムの開発は、そもそも大学教育の本来業務であり、大学の経常経費で行えるよう大学の教育活動の強化や、基盤的経費のあり方も含めて検討をするべき、というまとめにしたい。</p>		

文部科学省

<957百万円>

〔対象専修学校等から提案のあった事業内容を  
審査の上、支援対象とする取組みを選定し、  
補助金を交付する。〕



【公募・補助】

専門人材の基盤的教育推  
進プログラム

A. 専門学校・大学(全58機関)

<総額957百万円>

〔専門学校等が、産学間・学校間で連携し、  
教育プログラムの開発等を実施する。〕

**資金の流れ**  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する)(単  
位:百万円)

A.片柳学園			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	会議出席謝金、カリキュラム・シラバス開発謝金、調査謝金、報告会発表謝金等	22			
印刷製本費	調査票印刷、カリキュラム・シラバス印刷、報告書印刷等	8			
消耗品費	事務用品、プログラム開発用PC・モニター、ソフトライセンス等	8			
雑役務費	ホームページ作成、視聴覚教材撮影・編集、調査集計・分析費等	8			
旅費	会議出席旅費、打合せ旅費、ヒアリング調査旅費等	4			
借料・損料	会議会場借料、説明会・報告会会場借料	2			
通信運搬費	調査票発送、説明会・報告会案内発送、報告書発送等	1			
計		53	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

## 支出先上位10者リスト

### A. 専門学校・大学

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	片柳学園	・企業連携によるものづくりスキル標準策定と教育プログラム開発による技術者養成の推進 ・ゲーム産業における実践的OJT/OFF-JT体感型教育プログラム ・病院勤務医が求める中堅医療秘書育成のためのレベル別教育プログラム開発	53	-	-
2	秋葉学園	・クラウド/SaaSをビジネス活用する人材育成プログラムの開発 ・ライフインベーションを実現できる高度な能力をもつ介護福祉士の育成プログラム開発	35	-	-
3	麻生塾	・アジアの玄関口福岡での「海外人材受け入れプログラムの開発」 ・産官学連携による記録情報管理専門人材育成の教育プログラムの開発と実践	35	-	-
4	コンピュータ総合学園	・高度に専門化されたICT教育において知識バランスを重視した基盤力強化プログラム ・IT分野の技術文書作成力を強化する相互評価型eラーニングと教員研修の開発・実施	34	-	-
5	滋慶学園	・医療系中堅人材育成を目標にした人間力向上プログラムの開発・実証と団体連携普及 ・鍼灸師・柔道整復師の育成プログラムを産学が連携して評価するモデル事業の実践	34	-	-
6	産業技術学園	・コミュニティ型協調学習システムを活用した医療人材の専門的学習力・思考力の養成 ・中堅人材の学習力向上を支援するポートフォリオ共有型eラーニング開発と教員研修	34	-	-
7	有坂中央学園	・産・学・専の連携による就業円滑化とW&B教育ー社員を活かす労務と就職困難期教育ー ・サービスマイスター育成プログラムの開発ー中核人材のためのサービスマネジメントスクール構築を目指してー	31	-	-
8	電子開発学園	・産学連携による実践的ICT教育フレームワークの開発	18	-	-
9	赤山学園	産業界と連携した高品質組込みソフトウェア技術者養成プロジェクト	18	-	-
10	吉田学園	クラウド環境を利用した即戦力となるITインフラ構築エンジニア育成プログラムの開発と実証プロジェクト	18	-	-

※本事業は補助事業である。